

保育者養成校における人形劇制作の一考察
— 児童文化研究「人形劇脚本」の変遷から —

熊 田 武 司

A Study of Puppet Theater Class

Takeshi Kumada

Summary

The purpose of this study is to reconsider instruction methods in a puppet theater class. This class has been taught since 1966 when Shotoku Women's Junior College was established. This class instructs students on how to decide on a theme, write scripts, make puppets, perform their scripts, and publish a booklet of their scripts.

In this study, the themes, styles of puppets, and original works were sampled from the booklets of scripts that had been published from 1980-2003. Regarding themes, more than 70% of students chose "importance to human relationships." It is thought that relationships between friends is one of the most important things for children, and that's why this consequence may be appropriate. Regarding the styles of puppets, differences could be found according to the instructors. Most students have never made puppets or performed their own scripts before they took this class. Therefore, instructors should take into account the kind of style that is easiest to make and perform. Furthermore these puppet theaters should be very attractive for children, and more research on this topic is required. Regarding original works, more than 50% of students used famous stories irrespective of whether they were Japanese or foreign. Famous stories are familiar to children, making it easy to attract their attention. Therefore, this result may be appropriate.

Received Oct. 30. 2004

Key words : puppet theater, themes, scripts, styles of puppets, original works.

I はじめに

岐阜聖徳学園大学短期大学部幼児教育学科（以下、本学）では、1966年の開学以来、数ある児童文化財の中から人形劇制作を導入し、児童文化研究・発表を行っている。人形劇制作とは、脚本の題材探し・脚本の作成・脚本読み・人形の作成・大小道具の作成・効果音楽の作成・照明効果の作成・人形操作の稽古・演出・広報広告の作成・広報・記録・脚本集の作成を含んだものである。

本学で人形劇制作に取り組む学生は、保育者を目指して本学に入学し、はじめて人形劇に接し、人形劇を制作する学生がほとんどである。したがって、人形劇の専門家を養成するための人形劇制作ではなく、保育教材の一つとしての人形劇制作であり、保育の中でいかに実践していくかを研究するための人形劇制作である。

人形劇制作を本学に最初に導入した野倉武は、1989年の退任時「何故、幼児教育学科で人形劇をやるのか」と題して次のように述べている。〔14〕

児童文化で何をやればよいのか。他の大学を調べてみると、児童文学、世界日本の伝承民話・昔話、わらべ歌、わらべ遊び、童話、童謡、絵本など、児童を取り巻く文化財の沿革・歴史・批判などの研究調査講義が大部分だった。就職先では、どうなのか。幼稚園・保育園での、新任保育者への要望をまとめてみると、「声が小さい、エロキューションがダメ」要するに、話が下手。「手作り工作が不器用でダメ」「理屈はコネルが、仕事はできぬ」「気が付かない」「気がきかない」「体力と根気がない」「わがままで甘ったれ」「自分で考え、実行する積極性が足らぬ」「汚れ仕事を嫌う」等々。だから私は、人形の研究発表をすることで、要望にこたえようと考えた。

「何故、保育者養成の中で人形劇に取り組むのか」という野倉の考え方は、本学の人形劇制作をとおして、児童文化研究・発表の中で現在も受け継がれている。つまり、児童文化としての人形劇制作を学ぶだけではなく、約40年経過した現在も同様のことが言われている新任保育者に対する要望にこたえるため、人形劇制作という創作活動をとおして、脚本作成のための読書・舞台作りに関わっての美術工作・演技や演出における音楽表現・台詞の作り方、表現の仕方といった言葉・制作過程での協調性や人間関係などを総合的に経験し、保育者としての資質の向上を目指しているのである。

1998年改訂の「幼稚園教育要領」では、言葉領域のねらいの一つとして「日常生活に必要な言葉がわかるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせる。」が掲げられている。また、1999年改訂の「保育所保育指針」では、保育の目標の一つとして「様々な体験を通して、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培うこと。」が掲げられている。

さらに、2001年12月7日には『文化芸術振興基本法』が施行された。その前文には、「文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことは、人々の変わらない願いである。また、文化芸術は、人びとの創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、人

びとの心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものであり、世界の平和に寄与するものである。更に、文化芸術は、それ自体が固有の意義と価値を有するとともに、それぞれの国やそれぞれに時代における国民共通のよりどころとして重要な意味を持ち、国際化が進行する中において、自己認識の基点となり、文化的な伝統を尊重する心を育てるものである。(後略)」とある。また、その目的は、「この法律は、文化芸術が人間に多くの恵沢をもたらすものであることにかんがみ、文化芸術の振興に関し、基本理念を定め、ならびに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、文化芸術の振興に関する施策の基本となる事項を定めることにより、文化芸術に関する活動(以下「文化芸術活動」という。)を行う者(文化芸術活動を行う団体を含む。以下同じ。)の自主的な活動の促進を旨として、文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進を図り、もって心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。」である。

人形劇のほとんどは子どもを対象にして作られており、幼稚園・保育園では、外部から招いた公演として、また保育者が保育教材として日常的に保育の中で上演している。人の創造性や表現力の基礎を築く乳幼児期に、文化芸術の一つである人形劇に幼児教育や保育の中で触れることは、前述の「文化芸術振興基本法」の目的につながると考えられる。したがって、人形劇は、幼児教育や保育、そして文化芸術振興において必要とされるものの一つであると考えられる。また、乳幼児が人形劇に触れるために、保育者養成校において保育者を目指している学生が人形劇の基礎を研究し、実践することは、保育者としての資質の向上にもつながると考えられる。

そこで本研究では、保育者養成校である本学において、はじめて人形劇に接して人形劇制作に取り組む学生が、どのように人形劇制作を実践してきたのかについて、児童文化研究発表会「人形劇脚本集」のデータを分析・考察することにより明確にしたい。また、1980年から2003年までの人形劇制作の変遷を、人形劇制作の指導者が違う第Ⅰ期：1980年代、第Ⅱ期：1990年代、第Ⅲ期：2000年代に分けて考察することにより、保育者養成における人形劇の指導のあり方、課題を探求したい。

Ⅱ 方法

1980年から2003年まで行われた児童文化研究発表会の「人形劇脚本集」(1988年、2000年は人形劇脚本集を作成しなかったためデータがない)から、主題(テーマ)・人形の形式・脚本の原作を抽出し、それらを分類することにより、保育者を目指す学生がどのような視点で人形劇に取り組み、研究・発表を行ってきたのかを分析する。

件数	1980年代	250件		
	1990年代	207件		
	2000年代	56件	合計	513件

Ⅲ 結果と考察

1 主題（テーマ）

(1) 主題（テーマ）の分類（第1分類）

学生が設定した人形劇のテーマを、本学幼児教育学科の教員3名によって、K-J法により次の4つのカテゴリーに分類した。

- A 人との関わり方
- B 人の生き方
- C 人形劇の技法
- D 話の内容の伝達

(2) 第1分類の結果と考察

		第Ⅰ期		第Ⅱ期		第Ⅲ期		合計	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
A	人との関わり方	193	77.2%	144	69.6%	41	73.2%	378	73.7%
B	人の生き方	39	15.6%	47	22.7%	13	23.2%	99	19.3%
C	人形劇の技法	32	12.8%	11	5.3%	0	0.0%	43	8.4%
D	内容の伝達	49	19.6%	34	16.4%	3	5.4%	86	16.8%

表1から全体をみても、「人との関わり方」を主題としているものが最も多く、378件（73.7%）である。また、年代別に見ても、第Ⅰ期は、193件（77.2%）、第Ⅱ期は、144件（69.6%）、第Ⅲ期は、41件（73.2%）であり、第Ⅰ期、第Ⅱ期、第Ⅲ期とも「人との関わり方」と「人の生き方」が、ほぼ同じ割合で推移していることが分かる。つまり、どの年代においても、学生は人形劇をとおして「人との関わり方」についてを子どもたちに伝えたいと考えていることが分かる。（主題を2つ設定している作品があるため、数値は重複している）

「人との関わり方」には、「友情」「思いやり」「協力」「愛情」「その他」が含まれており、「その他」の中には、「いたづらはいけない」「欲張りは損をする」「うそつきは良くない」「ルールは守ろう」「命の尊さ」「感謝の気持ち」「たばこの害」「平和について」「老人を大切に」など、教訓的・教育的なものが含まれている。

本学は保育者養成校であり、学生は保育者を目指して学習している。このような大前提がある中で、人形劇をとおして学生が子どもたちに伝えたいと思う主題（テーマ）は、「人との関わり方」についてであり、「人の生き方」についてであった。

乳幼児期の子どもは人格形成の基礎を築く段階にあり、子どもにとって「人との関わり方」「人の生き方」を学習することは、非常に大切なことである。したがって、学生が人形劇制作の主題（テーマ）として「人との関わり方」「人の生き方」を選択していることは、保育者を目指す者としての確かな選択であると考えられる。

幼児教育・保育を学ぶ者にとっては、「人との関わり方」「人の生き方」をどのような手段で子どもに伝えていくかが問題である。日常的に保育に取り入れられている人形劇は、子どもにとって受け入れやすい教材の一つであるため、人形劇を媒体にして「人との関わり方」「人の生き方」を伝えていくことは有効であると考えられる。したがって、人形劇を活用するための基本的な技術を学ぶことは、より明確に主題を伝えるための表現方法を習得するとともに、保育者としての資質の向上につながるのである。

(3) 第2分類

「A 人との関わり方」は全体の7割を超えているため、(1)と同様に本学幼児教育学科の教員3名によって、K-J法により更に細かく次の5つのカテゴリーに分類して、その内容について分析することとした。また、約2割の「B 人の生き方」についても同様に、次の5つのカテゴリーに分類した。

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| A 人との関わり方 | 友情
思いやり
協力
愛情
その他 |
| B 人の生き方 | 幸せ
勇気
努力
誠実
素直 |
| C 人形劇の技法 | 人形劇の技法 |
| D 話の内容の伝達 | 内容の伝達 |

(4) 第2分類による年代別の結果と考察

「人との関わり方」を細かいカテゴリーで見ると、全体では、その他をのぞいて、「思いやり」がもっと多く、92件(17.9%)である。年代別に見ると、第Ⅰ期は、「思いやり」52件(20.8%)、第Ⅱ期は、「友情」38件(18.4%)、第Ⅲ期は、「友情」13件(23.2%)が最も多い主題となっている。しかし、各年代とも「人との関わり方」を主題とした中では、「友情」「思いやり」を主題としたものが「協力」「愛情」を主題としたものに比べ倍の件数になっている。つまり、学生は人形劇をとおして、子どもたちに「友情」や「思いやり」の大切さを伝えたいと考えていることが分かる。

「人形劇の技法」を主題としているものは、全体では、43件(8.4%)と少ないが、年代別

に見ると、第Ⅰ期は、32件（12.8%）、第Ⅱ期は、11件（5.3%）、第Ⅲ期は、0件（0%）である。これは、後述する「人形の形式」つまり指導方法にも関連していると考えられる。

保育教材として、人形劇そのものの面白さ、人形劇だからできる演出・手法など、技術的な面を指導することは必要だと考えられる。そして、技術的な人形劇の技法を使って主題をいかに表現するかということが必要なのである。したがって、保育者として、人形劇を一つの教材として取り組んでいくであろう学生にとって、それらの技法は主題（テーマ）そのものではなく、主題を生かすための技術なのである。

そこで、「人との関わり方」「人の生き方」といった主題（テーマ）を最大限に表現するための人形劇制作が必要となるのである。

各劇団の主題（テーマ）一覧表は、別に資料として添付する。

表2 主題（テーマ）第Ⅰ期

	1980		1981		1982		1983		1984	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
① 友情	8	25.8%	5	17.9%	4	11.4%	3	10.7%	4	11.8%
② 思いやり	8	25.8%	0	0.0%	14	40.0%	10	35.7%	4	11.8%
③ 協力	3	9.7%	5	17.9%	5	14.3%	2	7.1%	2	5.9%
④ 愛情	4	12.9%	3	10.7%	3	8.6%	2	7.1%	5	14.7%
⑤ 幸せ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%	2	5.9%
⑥ 勇気	3	9.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%	3	8.8%
⑦ 努力	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%	1	3.6%	3	8.8%
⑧ 誠実	0	0.0%	2	7.1%	1	2.9%	2	7.1%	2	5.9%
⑨ 素直	4	12.9%	1	3.6%	3	8.6%	2	7.1%	1	2.9%
⑩ 人形劇の技法	1	3.2%	3	10.7%	1	2.9%	3	10.7%	5	14.7%
⑪ 内容の伝達	2	3.5%	3	10.7%	6	17.1%	4	14.3%	6	17.6%
⑫ その他	9	29.0%	10	35.7%	14	40.0%	6	21.4%	8	23.5%
劇団数	31		28		35		28		34	

1985		1986		1987		1989		小計	
件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
0	0.0%	2	9.5%	3	11.1%	3	12.0%	32	12.8%
3	14.3%	6	28.6%	5	18.5%	2	8.0%	52	20.8%
1	4.8%	0	0.0%	2	7.4%	4	16.0%	24	9.6%
0	0.0%	1	4.8%	1	3.7%	2	8.0%	21	8.4%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
1	4.8%	1	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	9	3.6%
0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	6	2.4%
0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	8	3.2%
0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	1	4.0%	13	5.2%
5	23.8%	4	19.0%	5	18.5%	5	20.0%	32	12.8%
7	33.3%	4	19.0%	10	37.0%	7	28.0%	49	19.6%
4	19.0%	5	23.8%	3	11.1%	5	20.0%	64	25.6%
21		21		27		25		250	

保育者養成校における人形劇制作の一考察

表3 主題（テーマ） 第Ⅱ期

		1990		1991		1992		1993		1994	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①	友情	2	9.1%	0	0.0%	5	22.7%	4	18.2%	5	23.8%
②	思いやり	4	18.2%	3	13.6%	6	27.3%	2	9.1%	3	14.3%
③	協力	3	13.6%	6	27.3%	1	4.5%	1	4.5%	3	14.3%
④	愛情	0	0.0%	2	9.1%	1	4.5%	2	9.1%	5	23.8%
⑤	幸せ	4	18.2%	0	0.0%	2	9.1%	5	22.7%	1	4.8%
⑥	勇気	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	3	13.6%	2	9.5%
⑦	努力	0	0.0%	1	4.5%	2	9.1%	0	0.0%	1	4.8%
⑧	誠実	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑨	素直	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑩	人形劇の技法	4	18.2%	2	9.1%	2	9.1%	3	13.6%	0	0.0%
⑪	内容の伝達	5	22.7%	5	22.7%	5	22.7%	4	18.2%	2	9.5%
⑫	その他	4	18.2%	2	9.1%	2	9.1%	3	13.6%	1	4.8%
	劇団数	22		22		22		22		21	

	1995		1996		1997		1998		1999		小計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	5	25.0%	1	5.3%	6	30.0%	9	42.9%	1	5.6%	38	18.4%
	2	10.0%	3	15.8%	5	25.0%	2	9.5%	3	16.7%	33	15.9%
	1	5.0%	1	5.3%	1	5.0%	0	0.0%	2	11.1%	19	9.2%
	2	10.0%	2	10.5%	1	5.0%	1	4.8%	3	16.7%	19	9.2%
	1	5.0%	5	26.3%	3	15.0%	3	14.3%	2	11.1%	26	12.6%
	1	5.0%	1	5.3%	0	0.0%	1	4.8%	1	5.6%	10	4.8%
	0	0.0%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	6	2.9%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
	2	10.0%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	4	1.9%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	5.3%
	5	25.0%	2	10.5%	0	0.0%	4	19.0%	2	11.1%	34	16.4%
	5	25.0%	6	31.6%	5	25.0%	3	14.3%	4	22.2%	35	16.9%
	20		19		20		21		18		207	

表4 主題（テーマ） 第Ⅲ期

		2001		2002		2003		小計	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①	友情	3	16.7%	4	22.2%	6	30.0%	13	23.2%
②	思いやり	4	22.2%	1	5.6%	2	10.0%	7	12.5%
③	協力	1	5.6%	1	5.6%	1	5.0%	3	5.4%
④	愛情	1	5.6%	0	0.0%	4	20.0%	5	8.9%
⑤	幸せ	2	11.1%	2	11.1%	1	5.0%	5	8.9%
⑥	勇気	4	22.2%	1	5.6%	2	10.0%	7	12.5%
⑦	努力	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	1	1.8%
⑧	誠実	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑨	素直	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑩	人形劇の技法	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑪	内容の伝達	1	5.6%	1	5.6%	1	5.0%	3	5.4%
⑫	その他	3	16.7%	7	38.9%	3	15.0%	13	23.2%
	劇団数	18		18		20		56	

表5 主題（テーマ）

		合計	
		件数	%
①	友情	83	16.2%
②	思いやり	92	17.9%
③	協力	46	9.0%
④	愛情	45	8.8%
⑤	幸せ	34	6.6%
⑥	勇気	26	5.1%
⑦	努力	13	2.5%
⑧	誠実	9	1.8%
⑨	素直	17	3.3%
⑩	人形劇の技法	43	8.4%
⑪	内容の伝達	86	16.8%
⑫	その他	112	21.8%
	劇団数	513	

2 人形の形式

(1) 人形の形式の分類

人形劇で使用する人形には、様々なスタイルの人形がある。したがって、人形の分類方法は様々であるが、川尻泰司〔28〕〔29〕の分類を参考に、本学で製作された人形を人形の操作方法を基準に次の6つのカテゴリーに分類した。

① 片手遣い人形

片手遣い人形は、手袋状の人形を片手にはめて操作するものである。この人形を指人形と呼び分類することもあるが、指人形とは指のみで操作する小さな人形として別に分類されるものである。

② 棒遣い人形

棒遣い人形は、後述する棒人形とは区別され、人形が分解的に動く構造をしており、人形について数本の棒を操作することにより表現する形式の人形である。したがって、一体の人形を数人で操作するものもある。

③ 影絵人形

影絵人形は、ほとんどが棒人形又は棒遣い人形であり、影絵という人形劇の技法による分類ではあるが、トリック人形など影絵独特の人形もあるため、影絵人形として区別し分類することとした。

④ 表情人形

表情人形は、人形の頭に手を入れることにより内側から人形を動かし、口をパクパク動かしたり、顔の動きや表情を変化させたりすることができる手遣い人形である。また、棒遣い人形の構造を組み合わせ、数本の操作棒を人形に取り付けることにより、より表情豊かに表現することができるものである。

⑤ 棒人形

棒人形は、1本の棒状の人形で、棒の上部に頭（かしら）がついており、棒の下部を5本の指（片手）で握って操作するものである。指の分解的運動を必要としない手全体を運動させて操作するものであり、最も単純な人形の1つである。したがって、人形劇の初歩の段階で、人形操作の基本を会得するために使用される人形でもある。

⑥ その他の形式の人形

上記①～⑤以外にも、指人形、両手遣い人形、糸操り人形、抱え遣い人形、大型人形、仮面人形など、様々な形式の人形がある。

(2) 本学で製作された人形

① 片手遣い人形

本学で製作された片手遣い人形の操作方法は、次の形式である。(a) 人形の頭(かしら)を人差し指で操作し、人形の両手を親指と中指で操作する。(b) 人形の頭を人差し指で操作し、人形の両手を親指と中指・薬指・小指の3本で操作する。(c) 人形の頭を人差し指で操作し、人形の両手を親指と小指で操作する。(d) 人形の頭を人差し指と中指で操作し、人形の両手を親指と薬指・小指の2本で操作する。いずれの場合も、指の運動が最も直接的に目立つのであるが、本来は肘から先の手全体、つまり、腕、手首、掌、指などを総合的に運動させることにより操作するものである。さらに、繊細な表現をするためには、これらの部位、特に指を意識的に分解的運動させることが必要となってくるのである。

② 棒遣い人形

本学で製作された棒遣い人形は、下から操作するものであり、人形の頭につけた胴串(どぐし)を片手で下から支え、人形の手につけた差し金(操作棒)によって操作するものである。この人形は、首も自由に回転し、両手もそれぞれについた差し金によって分解的運動ができるため、複雑な操作をすることができる。また、製作された人形の多くは、胴串の長さが人形の腰の位置までであり、操作者の手首を曲げることで腰の伸び縮みや上げ下げが表現できるものである。さらに、頭にはからくりが施され、顔きができるようになっている。

③ 影絵人形

本学で製作された影絵人形は、人形にカラーセロハンを使った平面的棒人形や平面的棒遣い人形、立体的棒人形、立体的棒遣い人形のほか、映っている人形が瞬間的に別の人形に変身するトリック人形である。

④ 表情人形

本学で製作された表情人形は、人形の胴に腕をとおして頭に片手を入れて口を動かす人形と、人形の頭の後から片手を入れて口を動かす人形がある。いずれも両手に差し金をつけ、手を操作する形式の人形である。

⑤ 棒人形

本学で製作された棒人形は、操作棒に平面的絵人形をつけた立ち絵人形、操作棒に立体的な人形をつけた棒人形がある。これらは、いずれも人形劇の中で補助的な人形として取り扱われたものである。

⑥ その他の形式の人形

本学で製作されたその他の形式の人形には、糸操り人形、抱え遣い人形、大型人形がある。糸操り人形の発表では、常設舞台では操作が不可能なため、糸操り用の舞台も自主制作している。

(3) 結果と考察

表6 人形の形式

		合 計	
		件数	%
①	片手遣い人形	242	47.2%
②	棒遣い人形	285	55.6%
③	影絵人形	22	4.3%
④	表情人形	151	29.4%
⑤	棒人形	39	7.6%
⑥	その他	77	15.0%
	劇団数	513	

表6から、棒遣い人形285件（55.6%）、片手遣い人形242件（47.2%）であり、全劇団のほぼ半数がこのタイプの人形を使用していることが分かる。つまり、本学の人形劇制作における人形の形式は、棒遣い人形、片手遣い人形が主であったということである。

（1つの劇団で複数の形式の人形を作成しているため、数値は重複している）

表7 人形の形式 第I期

		1980		1981		1982		1983		1984	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①	片手遣い人形	10	32.3%	9	32.1%	6	17.1%	3	10.7%	11	32.4%
②	棒遣い人形	11	35.5%	12	42.9%	25	71.4%	13	46.4%	18	52.9%
③	影絵人形	2	6.5%	1	3.6%	1	2.9%	3	10.7%	5	14.7%
④	表情人形	8	25.8%	10	35.7%	16	45.7%	10	35.7%	13	38.2%
⑤	棒人形	0	0.0%	2	7.1%	2	5.7%	1	3.6%	3	8.8%
⑥	その他	3	9.7%	6	21.4%	3	8.6%	4	14.3%	4	11.8%
	劇団数	31		28		35		28		34	

	1985		1986		1987		1989		小 計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	9	42.9%	9	42.9%	18	66.7%	13	52.0%	88	35.2%
	14	66.7%	5	23.8%	10	37.0%	12	48.0%	120	48.0%
	1	4.8%	3	14.3%	3	11.1%	0	0.0%	19	7.6%
	5	23.8%	6	28.6%	4	14.8%	3	12.0%	75	30.0%
	4	19.0%	1	4.8%	3	11.1%	5	20.0%	21	8.4%
	1	4.8%	3	14.3%	1	3.7%	6	24.0%	31	12.4%
	21		21		27		25		250	

第I期は、棒遣い人形が120件（48.0%）であり最も多いが、片手遣い人形、手遣い人形も約3割の劇団が使用している。また、少数ではあるが、影絵人形、棒人形、その他の形式の人形も使用されており、人形の形式が多種だったことがわかる。これは、第I期においては、野倉武が人形劇制作を担当しており、10人が1劇団となり、人形劇制作にかかる40日間をフリーカリキュラムとして学生に任せ、人形劇の形態も学生に選択させるという指導方法をとっていたことから、このような結果が現れたと考えられる。

第II期は、棒遣い人形が165件（79.7%）であり最も多いが、片手遣い人形も147件（71.0%）であり、ほぼ同数の劇団が使用していたことが分かる。これは、第II期においては、服部克巳が人形劇制作を担当しており、表8から1990年は、前任の野倉の指導方法を踏

保育者養成校における人形劇制作の一考察

表8 人形の形式 第Ⅱ期

		1990		1991		1992		1993		1994	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①	片手遣い人形	14	63.6%	15	68.2%	13	59.1%	15	68.2%	13	61.9%
②	棒遣い人形	13	59.1%	16	72.7%	16	72.7%	19	86.4%	18	85.7%
③	影絵人形	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	2	9.1%	0	0.0%
④	表情人形	7	31.8%	2	9.1%	1	4.5%	1	4.5%	1	4.8%
⑤	棒人形	4	18.2%	1	4.5%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%
⑥	その他	5	22.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	劇団数	22		22		22		22		21	

		1995		1996		1997		1998		1999		小計	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
		15	75.0%	9	47.4%	19	95.0%	18	85.7%	16	88.9%	147	71.0%
		19	95.0%	14	73.7%	16	80.0%	18	85.7%	16	88.9%	165	79.7%
		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.4%
		0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	2	9.5%	5	27.8%	20	9.7%
		0	0.0%	1	5.3%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	8	3.9%
		0	0.0%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	2.9%
		20		19		20		21		18		207	

襲していたと考えられる。しかし、1991年以降は、片手遣い人形及び棒遣い人形の製作を一斉指導した後、人形劇の制作に取り組むという指導方法に切り替えたことから、このような結果が現れたと考えられる。

表9 人形の形式 第Ⅲ期

		2001		2002		2003		小計	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①	片手遣い人形	4	22.2%	1	5.6%	2	10.0%	7	12.5%
②	棒遣い人形	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③	影絵人形	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④	表情人形	18	100.0%	18	100.0%	20	100.0%	56	100.0%
⑤	棒人形	2	11.1%	3	16.7%	5	25.0%	10	17.9%
⑥	その他	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	1	1.8%
	劇団数	18		18		20		56	

第Ⅲ期は、表情人形の使用が56件（100%）である。そして、演出上の補助的な人形として、片手遣い人形、棒人形の使用が認められる。これは、第Ⅲ期においては、筆者が人形劇制作を担当することになったことから、意図的に製作・使用する人形の形式を変えたことにより、このような結果が現れたのである。

前述の、主題を「人形劇の技法」とする劇団が第Ⅰ期、第Ⅱ期、第Ⅲ期と年代を追う毎に減ってきたのは、やはり人形劇で使用する人形の形式の変化、指導方法の変化によるもので

あると考えられる。

本学では、棒遣い人形、片手遣い人形を主に使用して人形劇制作を行ってきた経緯がある。

片手遣い人形は、手軽に持ち運ぶことができるため、どこでも上演が可能である。また、人形が手袋状であるため、子どもでも操作が可能である。しかし、片手遣い人形を最大限に生かした繊細な表現・演技をするためには、前述したように、指だけではなく腕から手全体を使うための技術が必要となる。つまり、片手遣い人形は、操作は簡単であり人形劇の初歩として使用することが可能な人形ではあるが、表現方法は奥の深い難しいものである。

棒遣い人形は、複雑な表現をすることが可能であり、人形劇で様々な表現をすることができる。しかし、複雑な表現ができる故に複雑な操作が必要となり、棒遣い人形を最大限に生かした表現・演技をするためには、片手遣い人形以上に技術が必要となる。技術を伴わないと、差し金やからくりを十分に使いこなすことができないため、棒人形と何ら変わらない表現になってしまうのである。第Ⅰ期、第Ⅱ期において数多くの棒遣い人形が作成され使用されたが、人形操作の稽古が時間的に不十分であったため、棒遣い人形であるにもかかわらず棒人形的な表現になっていたのである。また、本学で作成された棒遣い人形は、人形そのものが大きいため、持ち運びには不便である。したがって、保育でこの人形を使うには不都合を生じる場合があるのである。

表現人形は、繊細な表現・演技をするためにはやはり技術を必要とするが、手遣い人形と棒遣い人形の双方の構造を備えているため、棒遣い人形よりは操作が簡単である。また、口が動くことでより具体的な表現をすることが可能であり、乳幼児にも受け入れられやすい人形である。本学で作成している表情人形は棒遣い人形に比べ持ち運びにも便利である。また、技術を伴わない学生でも、人形の口が動くことである程度の表現をすることができる。したがって、はじめて人形劇制作に取り組む学生が、主題をより豊かに表現する人形としては、棒遣い人形よりも良い人形であると考えられる。そこで、筆者は2001年より意図的に表情人形を使用して人形劇制作を行っているのである。

3 脚本の原作

(1) 脚本の原作の分類

脚本の原作の出所を、次の5つのカテゴリーに分類した。

① 日本の童話・昔話等による脚本

日本の童話・絵本・昔話・民話・伝え話等を題材にして、原作が意図するものを変更しないで脚色された脚本（登場人物の姿・名前、話の題名の変更は含む）

② 海外の童話・昔話等による脚本

海外の童話・絵本・昔話・民話・伝え話等を題材にして、原作が意図するものを変更しないで脚色された脚本（登場人物の姿・名前、話の題名の変更は含む）

保育者養成校における人形劇制作の一考察

③ 創作脚本

学生が自ら創作し、オリジナルとして脚色された脚本（当該年次以前に学生によって創作され、人形劇脚本集に掲載された脚本も含む）

④ 原作のある創作脚本

童話・絵本・昔話・民話・伝え話等を題材にして、原作が意図するものを変更して学生が創作して脚色された脚本（当該年次以前に学生によって脚色され、人形劇脚本集に掲載された脚本も含む）

⑤ 脚本集等から

市販されている人形劇脚本集、人形劇関係書籍、幼児教育雑誌、幼児教育指導書等に掲載されている脚本を使用したもの

(2) 結果と考察

表10から、本学の人形劇制作においては、日本の童話・昔話・絵本等を題材にして作られた脚本が最も多く、175件（34.1%）である。しかし、全般には、脚本集等からの引用を除いて、海外の童話・昔話等、創作、原作のある創作のいずれも2割程度の劇団が脚本として使用しており、学生が原作から脚色をして人形劇を制作しているという結果であった。

表10 脚本の原作

		合 計	
		件数	%
①	童話・昔話（日本）	175	34.1%
②	童話・昔話（海外）	107	20.9%
③	創作	118	23.0%
④	創作（原作あり）	93	18.1%
⑤	脚本集等	20	3.9%
劇団数		513	

表11 脚本の原作 第I期

	1980		1981		1982		1983		1984	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
① 童話・昔話（日本）	12	38.7%	11	39.3%	20	57.1%	10	35.7%	16	47.1%
② 童話・昔話（海外）	0	0.0%	2	7.1%	2	5.7%	3	10.7%	4	11.8%
③ 創作	15	48.4%	11	39.3%	8	22.9%	8	28.6%	6	17.6%
④ 創作（原作あり）	3	9.7%	3	10.7%	1	2.9%	5	17.9%	6	17.6%
⑤ 脚本集等	1	3.2%	1	3.6%	4	11.4%	2	7.1%	2	5.9%
劇団数	31		28		35		28		34	

1985		1986		1987		1989		小 計	
件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
9	42.9%	10	47.6%	10	37.0%	6	24.0%	104	41.6%
4	19.0%	0	0.0%	4	14.8%	3	12.0%	22	8.8%
3	14.3%	7	33.3%	4	14.8%	8	32.0%	70	28.0%
5	23.8%	3	14.3%	8	29.6%	5	20.0%	39	15.6%
0	0.0%	1	4.8%	1	3.7%	3	12.0%	15	6.0%
21		21		27		25		250	

表12 脚本の原作 第Ⅱ期

		1990		1991		1992		1993		1994	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①	童話・昔話（日本）	6	27.3%	11	50.0%	7	31.8%	4	18.2%	4	19.0%
②	童話・昔話（海外）	8	36.4%	5	22.7%	5	22.7%	12	54.5%	13	61.9%
③	創作	6	27.3%	1	4.5%	3	13.6%	2	9.1%	1	4.8%
④	創作（原作あり）	2	9.1%	5	22.7%	7	31.8%	4	18.2%	3	14.3%
⑤	脚本集等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	劇団数	22		22		22		22		21	

		1995		1996		1997		1998		1999		小計	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
		5	25.0%	3	15.8%	5	25.0%	8	38.1%	1	5.6%	54	26.1%
		7	35.0%	5	26.3%	6	30.0%	4	19.0%	6	33.3%	71	34.3%
		2	10.0%	4	21.1%	6	30.0%	4	19.0%	4	22.2%	33	15.9%
		4	20.0%	5	26.3%	3	15.0%	5	23.8%	7	38.9%	45	21.7%
		2	10.0%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.9%
		20		19		20		21		18		207	

第Ⅰ期は、日本の童話・昔話等を題材にして作られた脚本が最も多く、104件（41.6%）であり、表11から、1989年を除いて毎年約4割の劇団がこれを題材にしていることが分かる。それに比べ、海外の童話・昔話等を題材に作られた脚本は、22件（8.8%）であり、非常に少ないという結果が現れた。

第Ⅱ期は、第Ⅰ期とは逆に海外の童話・昔話を題材にして作られた脚本が最も多く、71件（34.3%）という結果であった。しかし、日本の童話・昔話等が少ないというわけではなく、54件（26.1%）で1／4強の劇団が題材として使用しているという結果であった。

表13 脚本の原作 第Ⅲ期

		2001		2002		2003		小計	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
①	童話・昔話（日本）	6	33.3%	6	33.3%	5	25.0%	17	30.4%
②	童話・昔話（海外）	4	22.2%	8	44.4%	2	10.0%	14	25.0%
③	創作	4	22.2%	2	11.1%	9	45.0%	15	26.8%
④	創作（原作あり）	4	22.2%	1	5.6%	4	20.0%	9	16.1%
⑤	脚本集等	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	1	1.8%
	劇団数	18		18		20		56	

第Ⅲ期は、日本の童話・昔話等が17件（30.4%）であり最も多いが、海外の童話・昔話等は14件（25.0%）、創作は15件（26.8%）であり、ほぼ同数という結果であった。

本学での人形劇制作においては、童話・昔話・民話・絵本等を題材にして脚色し、脚本を作成している。脚色の仕方は様々ではあるが、人形劇としての表現をするために、各劇団が工夫し脚色していることは確かである。

保育者として人形劇に取り組む上で必要なことは、子どもに何を伝えたいのかを考え、主題を明確にし、それをするために必要な原作を選び、対象年齢に合わせて脚色をした脚本を作成することである。第一に脚本が確定されていないと、人形劇としての表現ができないばかりか、主題が伝わらないということが起こり得るのである。

子どもたちが日頃から親しんでいる絵本や童話、昔話を題材にして脚本を作成することにより、人形劇で表現する世界にも入りやすくなり、主題が伝わりやすくなるという利点がある。

人形劇21世紀会議（主催；日本人形劇ネットワーク）において、絵本として表現されたものを人形劇にすることに対する是非について、次のような議論が行われている。〔34〕

- 絵本は、日常的に子どもに親しまれており、絵本を人形劇の題材にすることで人形劇が子どもに親しまれることにつながる。
- 絵本には視覚的なイメージがあり、人形劇を制作しやすい。
- 子どもによく知られた絵本を人形劇にすることで、芝居に対する関心度が高まり、公演依頼がよく来るようになる。つまり、よく売れる。（専門人形劇団）
- 絵本を人形劇にすることにより、絵本が持つ本来の特性を崩すことになる。
- 絵本を人形劇にすることにより、作者が言わんとする内容が別のものに曲げられる可能性がある。

などである。

これらは今後の課題として、人形劇21世紀会議での議論に結果を委ねることにする。

本学の人形劇制作においては、はじめて人形劇に取り組む学生が制作するものであるため、子どもが日常的に親しんでいる絵本や童話や昔話を原作として脚色をし、子どもを対象にした脚本を作成することにより、学生が選択した主題を容易に表現することができ、子どもに対して主題を伝えることができると考えられる。

IV おわりに

本研究では、過去の「児童文化研究発表会 人形劇脚本集」から主題（テーマ）・人形の形式・原作のデータを抽出し分析することから、保育者養成校における人形劇制作のあり方、課題を探ってきた。

学生が設定した主題（テーマ）については、「人との関わり方」を主題とした脚本が7割強であり、年代による差異や指導者による差異は見られなかった。これは、制作者が保育者養成校である本学の学生であるため、どの年代においても保育者として子どもに伝えたい主題（テーマ）が類似したのだと考えることができる。また、本学での人形劇制作は、1劇団10人前後で結成されており、各自が努力することはもちろんのこと、劇団内での協力・思いやりなど人間関係を保つという、多数の学生が子どもに伝えたい主題として選択した「人との関わり方」を

自ら実践する場でもある。

人形の形式については、年代による差異が見られた。これは、指導方法のあり方、指導者の考え方の差異であると考えられる。片手遣い人形・棒遣い人形・表情人形など様々な人形を作成し人形劇制作に取り組んできているが、主題を的確に表現するために、そして主題を的確に子どもに伝えるために、はじめて人形劇に取り組む学生が表現しやすい人形の形式については、今後更に研究を重ね検討していくことが課題である。

原作については、年代による差異や指導者による差異はほとんど無く、5割強の脚本が日本や海外の絵本・童話・昔話等を原作としたものであった。保育者養成校における人形劇制作での脚本の原作は、子どもに親しみのある絵本等を選択することが望ましいと考えられる。今後は、子どもの発達段階に則した脚色の仕方を研究していくことが課題である。

また、今回の研究のためにデータを収集した「児童文化研究発表会 人形劇脚本集」からは読みとることができなかった実際に発表された人形操作、人形での表現の仕方については、今後の課題として、記録ビデオ等のデータから分析する必要があると考える。

保育者養成校における人形劇制作は、人形劇の技術を向上させるものではなく、人形劇の基本的な技術を学び、それをいかに保育につなげ、人形劇を媒介として保育を実践し、子どもたちの成長を促すための一つの手段としての人形劇を研究し、習得していくものである。

人形劇は、幼児教育や保育、そして文化芸術振興において必要とされるものの一つである。また、乳幼児が人形劇に触れるために、保育者養成校において保育者を目指している学生が人形劇制作について研究し、実践することは、保育者としての資質の向上にもつながるものなのである。

参考・引用文献

- 〔1〕 聖徳学園女子短期大学 第14回Ⅰ部2年 卒講公演人形劇脚本集 1980
- 〔2〕 聖徳学園女子短期大学 第14回Ⅲ部2年 卒講公演人形劇脚本集 1980
- 〔3〕 聖徳学園女子短期大学 第15回Ⅰ部2年 卒講公演人形劇脚本集 1981
- 〔4〕 聖徳学園女子短期大学 第15回Ⅲ部2年 卒講公演人形劇脚本集 1981
- 〔5〕 聖徳学園女子短期大学 第16回Ⅰ部2年 卒講公演人形劇脚本集 1982
- 〔6〕 聖徳学園女子短期大学 第16回Ⅲ部2年 卒講公演人形劇脚本集 1982
- 〔7〕 聖徳学園女子短期大学 第17回Ⅰ部2年 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1983
- 〔8〕 聖徳学園女子短期大学 第17回Ⅲ部2年 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1983
- 〔9〕 聖徳学園女子短期大学 第18回Ⅰ部2年 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1984
- 〔10〕 聖徳学園女子短期大学 第19回 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1985
- 〔11〕 聖徳学園女子短期大学 第20回 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1986
- 〔12〕 No.26 聖徳学園女子短期大学 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1987

保育者養成校における人形劇制作の一考察

- 〔13〕 No.27 聖徳学園女子短期大学 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1988
- 〔14〕 No.28 聖徳学園女子短期大学 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1990
- 〔15〕 No.29 聖徳学園女子短期大学 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1991
- 〔16〕 No.30 聖徳学園女子短期大学 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1992
- 〔17〕 No.31 聖徳学園女子短期大学 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1993
- 〔18〕 No.32 聖徳学園女子短期大学 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1994
- 〔19〕 No.33 聖徳学園女子短期大学 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1995
- 〔20〕 No.34 聖徳学園女子短期大学 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1996
- 〔21〕 No.35 聖徳学園女子短期大学 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1997
- 〔22〕 No.36 聖徳学園女子短期大学 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1998
- 〔23〕 No.37 岐阜聖徳学園大学短期大学部 児童文化研究発表会人形劇脚本集 1999
- 〔24〕 No.38 岐阜聖徳学園大学短期大学部 児童文化研究発表会人形劇脚本集 2000
- 〔25〕 No.39 岐阜聖徳学園大学短期大学部 児童文化研究発表会人形劇脚本集 2002
- 〔26〕 No.40 岐阜聖徳学園大学短期大学部 児童文化研究発表会人形劇脚本集 2003
- 〔27〕 No.41 岐阜聖徳学園大学短期大学部 児童文化研究発表会人形劇脚本集 2004
- 〔28〕 川尻泰司『絵で語る人形劇セミナー1 人形劇をはじめよう』玉川大学出版部 1997
- 〔29〕 川尻泰司『絵で語る人形劇セミナー2 人形劇であそぼう』玉川大学出版部 1997
- 〔30〕 川尻泰司『絵で語る人形劇セミナー3 人形劇はどこでもできる』玉川大学出版部 1997
- 〔31〕 川尻泰司『絵で語る人形劇セミナー4 人形劇は楽しくつくろう』玉川大学出版部 1997
- 〔32〕 日本演劇教育連盟編集『新人形劇入門』晩成書房 1994
- 〔33〕 松葉重庸『人形芝居と保育』白眉学芸社 1974
- 〔34〕 日本人形劇ネットワーク『人形劇21世紀会議 報告書』2004

熊田武司

資料 (各劇団一覧表)

年	部	題名	主題 (テーマ)		人形形式		原作
1980	1	血のはなし	内容の伝達		4		1
	1	村の嫁っこ	友情	素直	1		3
	1	化け猫	人形劇の技法		2		4
	1	火をふく山んば	勇気	素直	3		3
	1	ピエロと遊ぼう	愛情		6		3
	1	近くて遠い柿	協力		1		4
	1	かぐや姫	内容の伝達		3		1
	1	ラベル王子	思いやり		2		4
	1	不思議な長ぐつ	その他		6		3
	1	トッポリンと王様	その他		1	2	3
	3	イモ太郎	その他		1		3
	3	てぶくろをかいに	愛情	思いやり	1		1
	3	うさぎとかめ	その他		4		1
	3	太郎とにんじん	その他		4		3
	3	てぶくろを買いに	愛情	思いやり	2		1
	3	もちもちの木	勇気		2		1
	3	迷子のミイチャン	友情		1		3
	3	子熊のクリスマス	思いやり		4		1
	3	ブップの実	友情		2	4	3
	3	プータとライオン	友情		4		3
	3	ゴロン太とはな	その他		2		1
	3	コケッココ	友情	協力	2		3
	3	うまかたとたぬき	愛情	思いやり	2		1
	3	くわどろぼう	その他		2		1
	3	おそうじたぬき	その他		2		5
	3	笑った雪だるま	素直	友情	1		3
	3	人參君のお誕生日	友情	協力	4		3
	3	だめっこライオン	勇気	思いやり	4		3
	3	たぬきどんのおもち	その他		1		1
	3	りんごがひとつ	友情	思いやり	1	4	1
3	赤いきつね	思いやり		1		3	
1981	1	チンクおんがっかい	協力		6		3
	1	五色のしか	その他	内容の伝達	3		2
	1	なかよしこよし	友情		6		3
	1	貧乏神と福の神	誠実		1		1
	1	雪娘	愛情		2		1
	1	ガイコツ	人形劇の技法		6		3
	1	こねこはどうやって鳴くのを覚えたか?	協力		1		1
	1	翔んでるピーコ	人形劇の技法		6		3
	1	ビノチオ	その他		6		2
	1	よくばりおしょうさん	その他		1	2	1
	3	小僧とたぬき	内容の伝達		2	4	3
	3	お札と小僧	内容の伝達		4		1
	3	みの地藏	その他		2		1
	3	さるじぞう	愛情		2		1
	3	おしょうとかえる	その他		1	2	1
	3	かみなりゴロ吉	その他		2		1
	3	とべたとべた	その他		1	4	3

保育者養成校における人形劇制作の一考察

年	部	題名	主題(テーマ)		人形形式			原作
1981	3	きいろいカラス	誠実	素直	6	4	5	4
	3	へっぶり村は大騒ぎ	人形劇の技法		1	4	5	5
	3	わがままブッチ	愛情	その他	4			3
	3	みんなでヨイショ	協力		1			4
	3	なかまの森	その他	友情	2			1
	3	ふしぎなジャガイモ	協力		1			4
	3	おともだち	友情		4			1
	3	いたずらたぬき	その他		2	4		3
	3	ふしぎの森	協力	友情	2	4		3
	3	ぼくたべるよ	その他		1	2		3
3	ねずみのしっぽ	友情		2	4		3	
1982	1	かわいそうなゾウ	その他		2	4		1
	1	竜のなみだ	愛情	思いやり	6	2		1
	1	くるみの森	その他		1	2		3
	1	白鳥	内容の伝達		2			1
	1	5ひきのねこ	人形劇の技法	協力	4			1
	1	よぶこ鳥	愛情		6	2		1
	1	かさじぞう	思いやり		2			1
	1	おそうじたぬき	その他	思いやり	2	4		5
	1	赤いしっぽのきつね	思いやり	友情	1			3
	1	田植え地藏	思いやり		2	4		1
	1	天国はどこ	思いやり	その他	4			1
	1	つるのおんがえし	思いやり	その他	3			1
	1	ないたあかおに	思いやり	友情	1	4		1
	1	スイミー	協力		6	5		2
	3	きへいさんときつね	内容の伝達	思いやり	2	4		5
	3	こぎつねコンとこだぬきポン	素直		4			1
	3	かっぱとじいさま	思いやり		2	4		3
	3	いも子とにわとり	内容の伝達	思いやり	2	4		3
	3	カミソリを食べた和尚さん	内容の伝達	その他	2			5
	3	とおる君のおもちゃ	その他		2			3
	3	空から降ってきた卵	内容の伝達		2			1
	3	コン太と田吾作	その他	思いやり	2	4		3
	3	はやのみこみの子猫	愛情	努力	4			1
	3	言えなかった一言	素直		4			5
	3	ごめんなさい	素直	その他	1	2		3
	3	傷痕	その他		2			3
	3	てぶくろをかいに	思いやり	誠実	2	4		1
	3	大きなかぶら	協力		2			4
	3	大きな花輪	協力	友情	1	2		1
	3	へっぶり嫁さん	内容の伝達		2	4		1
	3	おひさざくら	その他	思いやり	2	4		1
	3	だるまちゃんとかみなりちゃん	友情	協力	2			1
	3	さるかに合戦	その他		2	5		1
3	飴を買うううれい	その他		1			1	
3	鹿とぶどうの木	その他		2			2	
1983	1	一寸法師	内容の伝達	努力	3			1
	1	花さき山	思いやり		2			1
	1	あの柿食べたいな	協力	勇気	1			4

熊田 武司

年	部	題名	主題(テーマ)		人形形式			原作	
1983	1	おばあちゃん	その他	思いやり	2			3	
	1	マッチ売りの少女	幸せ		3			2	
	1	ニャンタの大冒険	人形劇の技法		6	4	5	3	
	1	ピエロとあそぼう	人形劇の技法		6	4		3	
	1	しあわせの種	友情	思いやり	4			1	
	1	ちびくろサンボ	人形劇の技法		2	4		2	
	1	泣いた赤鬼	友情	思いやり	2			1	
	1	おにのよめさん	内容の伝達		3			4	
	1	盲導犬サーブ	愛情		2			1	
	3	ごんちゃんとお風呂	友情		4			4	
	3	だだっこライオン	その他		4			5	
	3	泣いた赤鬼	思いやり		2			4	
	3	ランドセル	内容の伝達		2			1	
	3	しあわせのダンゴ	思いやり		4			3	
	3	やまんばと風車	その他		2			3	
	3	子ねこはどうやってなくのを覚えたか	内容の伝達		4			2	
	3	ごめんなさい	素直		1			3	
	3	道化師のソネット	誠実		2	4		3	
	3	うばすて山	その他	思いやり	2			4	
	3	夕鶴	思いやり		2			1	
	3	雪娘	愛情		2			1	
	3	ゆきむすめ	思いやり		2			1	
	3	仲良くあそぼう	その他		1			1	
	3	きへいさんときつね	その他	思いやり	6			5	
	3	黄色いカラス	素直	誠実	6	4		3	
	1984	1	さるかに合戦	愛情		1	4	5	4
		1	帽子をほしがったライオン	思いやり	内容の伝達	2	4		1
1		かさじぞう	思いやり		1	2		1	
1		ピエロとあそぼう	人形劇の技法		6	2		3	
1		にんぎょ姫	愛情		3			2	
1		三びきのこぶた	愛情	努力	4			2	
1		くまのしっぽはなぜ短い	協力	友情	1	2	4	5	
1		ぼんたの自動販売機	内容の伝達	思いやり	1	4		1	
1		かぐや姫	人形劇の技法		3			1	
1		黄色になったカラス	誠実	素直	6	5		3	
3		へっぴり嫁さん	内容の伝達		2			1	
3		もずときつね	その他	友情	1			2	
3		カチカチ山	その他		2	4		1	
3		子猫はどうやって鳴くのを習ったか	勇気		1			2	
1		だましそこねたカメ	その他		2	4		4	
1		娘道成寺	内容の伝達		2			4	
1		ねずみのすもう	内容の伝達	努力	2	1		1	
1		ミー太に何が起こったか	人形劇の技法		6	4		3	
1		もちもちの木	勇気		3			1	
1		ごんぎつね	人形劇の技法		3			1	
1		ゆけ!ゆけ!ももたろうマン	勇気		6	2		3	
1		魔法使いの鏡	協力	その他	4	5		5	
1		いも娘	その他		2			1	
1		泣いた赤おに	誠実	友情	2			1	

保育者養成校における人形劇制作の一考察

年	部	題名	主題(テーマ)	人形形式			原作
1984	1	てぶくろをかいに	愛情	2	4	3	1
	1	いたずらうさぎ	その他	1	4		1
	1	ごんぎつね	内容の伝達	1	2		1
	1	2010年赤ずきん	その他	2	4		4
	3	続・うさぎとかめ	努力	4			4
	3	こぶとりじいさん	人形劇の技法	2			4
	3	へんなきょうそう	友情	1			1
	3	あの柿食べたいな	その他	1			3
	3	かさじぞう	思いやり	2			1
3	おつきとおほし	愛情	2			3	
1985	1	太郎と不思議な卵	勇気	1	2		4
	1	トッポリンと王様	その他	1	2	5	3
	1	どっぼんライオン	思いやり	4			1
	1	北風の贈り物	内容の伝達	2	5		2
	1	かぐやひめ	内容の伝達	3			4
	1	ぼく雪だるま	内容の伝達	2	6		3
	1	家庭崩壊	その他	5			3
	1	コン吉ーたんぼぼの花嫁ー	人形劇の技法	2	4		4
	1	夜叉ヶ池	内容の伝達	2			1
	1	おむすびころりん	その他	1	2		1
	3	ごんぎつね	内容の伝達	2	4		1
	3	宝島をさがせ	人形劇の技法	1	4		1
	3	ききみみずきん	協力	1	5		1
	3	田舎のねずみと都会のねずみ	その他	1			2
	3	三匹のこぶた	その他	1	4		2
	3	ランドセル	内容の伝達	2			1
	3	星太郎	人形劇の技法	2			4
	3	マッチ売りの少女	人形劇の技法	2			2
	3	おむすびころりん	思いやり	内容の伝達	1	2	
3	おしょうさんとちんねん	人形劇の技法	1	2		1	
3	新版・かさじぞう	思いやり	2			4	
1986	1	よだかの星	誠実	3			1
	1	子うさぎましろのクリスマス	その他	1	2		1
	1	ビビディバビディブ	人形劇の技法	6			5
	1	7つのおはなし	人形劇の技法	3			3
	1	真珠姫	内容の伝達	3			1
	1	よくばり子ぐま	その他	1			1
	1	こうさぎのクリスマス	思いやり	4			1
	1	真黒マリノ	思いやり	6	5		1
	1	不思議なキャンディー	その他	2			3
	1	あわてんぼうのサンタクロース	思いやり	1			4
	1	ピエロ	人形劇の技法	6	4		3
	1	さるかに合戦その後	思いやり	4			3
	3	鬼ばば	内容の伝達	2			4
	3	うさぎどんきつねどん	友情	1	4		1
	3	山の冬	内容の伝達	その他	1		4
	3	うさぎ物語	内容の伝達	1			3
	3	騒がせ者の宇宙人	人形劇の技法	2			3
	3	みどりを守れ	友情	勇気	1		3

熊田 武司

年	部	題名	主題(テーマ)		人形形式			原作	
1986	3	ねずみの嫁入り	その他		1	4		1	
	3	かさじぞう	思いやり		1			1	
	3	てぶくろを買いに	思いやり	愛情	2	4		1	
1987	1	はずかしがりやのドラゴン	人形劇の技法		3			1	
	1	三びきのこぶた	友情	協力	5			4	
	1	らんこの大冒険	内容の伝達		1			3	
	1	新デレラ	内容の伝達		1	2		4	
	1	人魚姫	思いやり		3			2	
	1	ブルーマンの家	思いやり		3			2	
	1	三枚のお札	その他		1	4		1	
	1	ママどーこ	愛情		1			1	
	1	やぎさんのおみやげ	協力		1			1	
	1	さみしぼうのおに	思いやり		1			3	
	1	へんなきょうそう	素直		1			1	
	1	新・おやゆびひめ	思いやり		1	2		4	
	1	トラックとらすけ	努力	内容の伝達	5			5	
	1	がんばれピエロくん	その他		1	2		3	
	1	もういいかい	内容の伝達		1			1	
	3	のんびりこぶたとせかせかうさぎ	友情		4			1	
	3	赤ずきんちゃん	内容の伝達		2			2	
	3	蛇嫁	内容の伝達		6			1	
	3	ごんぎつね	内容の伝達		2	4		1	
	3	ドラゴンボール	人形劇の技法		1	2		4	
	3	サメ蛇	内容の伝達		1	5		3	
	3	おおかみと四ひきのこやぎ	人形劇の技法		1	2		4	
	3	おんがえし	思いやり		1			4	
	3	泣いた赤おに	友情	思いやり	1	2		1	
	3	へっぴりよめ	人形劇の技法	内容の伝達	1	4		4	
	3	たけちゃんはどこへ?	人形劇の技法	内容の伝達	1	2		4	
	3	はだかの王様	その他		1	2		2	
	1989	1	くまのしっぽはなぜ短い	その他		1			5
		1	あわてんぼうのチビタン	内容の伝達		1			5
		1	ピエロと遊ぼう	人形劇の技法		6	2		3
		1	ドラキュラーだぞ	人形劇の技法		1	2		3
		1	まっくろノリノ	友情		6	2		1
		1	まいごのこねこちゃん	その他		1			3
1		大きなさつまいも	協力		1	2		4	
1		宙返って素敵だな	内容の伝達		5			5	
1		こねこの冒険	内容の伝達		1			2	
1		ひとりぼっちのライオン	友情		4			1	
1		平成元年度版赤ずきんちゃん	その他	協力	1	2		4	
1		しかられて	協力		1			1	
3		サンタからメリークリスマス	内容の伝達	協力	1			3	
3		のりおの大冒険	素直		2	4		3	
3		泣いた赤鬼	友情	思いやり	1	2		1	
3		いなかのねずみととかいのねずみ	人形劇の技法		1			2	
3		みんな同じ人間やものなあ	思いやり		6	5		3	
3		F r i e n d s	その他		6	5		3	
3		わんないとどりーむ	内容の伝達		6	5		3	

保育者養成校における人形劇制作の一考察

年	部	題名	主題(テーマ)		人形形式			原作
1989	3	さるかに合戦	その他		2			1
	3	ヘンゼルとグレーテル	愛情		2			2
	3	あわてんぼうのサンタクロース	人形劇の技法		6	5		4
	3	とりかえっこ	人形劇の技法		1	2	4	4
	3	ねえさんともうと	内容の伝達	愛情	1	2		1
	3	涙より美しいもの	内容の伝達		2			4
1990	1	ガラガラドンをやっつけろ	協力	その他	1	2	4	3
	1	すてきなX'mas	思いやり		2			1
	1	ごんぎつね	内容の伝達		2	4		1
	1	王様の耳はロバの耳	思いやり		1	2		2
	1	はるかのがてがみ	友情	人形劇の技法	1	2	4	1
	1	大きなかぶ	協力		1	2		2
	1	だるまちゃんとてんぐちゃん	内容の伝達		2			1
	1	魔法使いの鏡	協力	その他	1	2	4	3
	1	マッチ売りの少女	幸せ		6	5		2
	1	ももたろう	友情		2	4		1
	1	サンタクロースって本当にいるのかな?	幸せ		6	5		3
	1	三びきのこぶた	その他		1	4		2
	3	かさじぞう	思いやり		1			4
	3	三枚のおふだ	人形劇の技法		1	6		4
	3	カチカチ山	内容の伝達		1	2		1
	3	マッチ売りの少女	幸せ		1			2
	3	こびとのくつやさん	誠実	内容の伝達	1	2		2
	3	あかずきんちゃん	その他		1	2		2
	3	三びきのこぶた	人形劇の技法		1	4		2
	3	バラの城	思いやり	幸せ	2			3
	3	燃えよドラゴン	内容の伝達		6	1	5	3
	3	天国の門	人形劇の技法		6	5		3
	1991	1	子ぶたの大失敗	内容の伝達		1		
1		たこやきマントマン	協力		1			1
1		大きなかぶ	協力		1	2		2
1		てぶくろをかいに	思いやり		1	2		1
1		ききみみずきん	思いやり		1	2		1
1		さるかに合戦	その他		1	5		1
1		小人の靴屋さん	人形劇の技法		1	2		2
1		まこちゃんのおたんじょうび	内容の伝達		1	2		1
1		ブレーメンのおんがくたい	協力		1	2	4	2
1		もちもちの木	勇気		2			1
1		大きなかぶ	協力		1	2		4
1		手ぶくろ	協力		1			2
3		しらゆきひめ	内容の伝達		1	2		4
3		3匹のこぶた	努力		1	4		4
3		あわてんぼうのサンタクロース	内容の伝達		2			1
3		はんぶんちょうだい	協力		1			1
3		にんぎょひめ	愛情		2			4
3		ヘンゼルとグレーテル	愛情		2			2
3		おむすびころりん	その他		1	2		1
3		つるの恩がえし	内容の伝達		2			1
3		あれからつうはこうなった	人形劇の技法		2			4

熊田武司

年	部	題名	主題(テーマ)		人形形式		原作
1991	3	花さき山	思いやり		2	3	1
1992	1	はりねずみのピククル	人形劇の技法	友情	1	5	1
	1	てぶくろ	思いやり		1	2	2
	1	きんちゃんぎんちゃんとしろちゃん	思いやり		2		1
	1	大きな・・・	内容の伝達		1		4
	1	おじいさんのふゆごもり	思いやり		1	2	4
	1	みんなのクリスマス	その他		1	2	3
	1	ヘンゼルとグレーテル	愛情		2		4
	1	七色の花	思いやり		2		2
	1	森の仲間たち	協力		1	2	4
	1	田舎のねずみと都会のねずみ	内容の伝達		1		4
	1	サンタクロースって本当にいるのかな	内容の伝達		1	2	4
	1	スーパーペンギンペンギントン	努力		1		1
	1	はなさかじじい	内容の伝達		1	2	1
	1	アンパンマンと森の仲間たち	その他		1		1
	3	シンデレラ	人形劇の技法		2		2
	3	ともだちほしいなおおかみくん	思いやり	友情	4		1
	3	はずかしがりやのサンタクロース	内容の伝達		1	2	3
	3	ももたろう	思いやり	友情	1	2	4
	3	アルプスの少女ハイジ	友情	努力	2		1
	3	ツリーを飾ろうよ	友情		2		3
3	マッチ売りの少女	幸せ		2		2	
3	シンデレラ	幸せ		2		2	
1993	1	ヘンゼルとグレーテル	幸せ	愛情	2		2
	1	かぐやひめ	内容の伝達		2	3	4
	1	スーパーマン	内容の伝達		1	2	3
	1	ジャックと豆の木	勇気		1		2
	1	ピエロ	愛情		1	2	3
	1	裸の王様	その他		1	2	2
	1	ともだちほしいなおおかみくん	友情		1		1
	1	大きなかぶ	協力		1	2	4
	1	しらゆき姫	幸せ		1	2	4
	1	ふしぎながちょう	人形劇の技法		2		2
	1	おひめさまのなぞなぞ	人形劇の技法		2		1
	1	雪の女王	友情	勇気	1	2	2
	3	ピーターパン	内容の伝達		2		2
	3	なんでもなおすおいしゃさん	内容の伝達		1	4	2
	3	マッチ売りの少女	幸せ		2		2
	3	しんちゃんひめ	友情	その他	1	2	4
	3	青い鳥	幸せ		1	2	2
	3	こびとのくつや	人形劇の技法		1	2	2
	3	アルプスの少女ハイジ	友情	勇気	2		1
	3	あわてんぼうのサンタクロース	思いやり		1	2	1
3	あかずきんちゃん	その他		1	2	3	
3	白雪姫	思いやり	幸せ	1	2	2	
1994	1	さんびきのこぶた	努力		1	4	2
	1	ちびちゃんめいたんてい	友情		1	2	1
	1	大きなかぶ	協力		1	2	2
	1	いばらひめ	愛情		2		2

保育者養成校における人形劇制作の一考察

年	部	題名	主題(テーマ)		人形形式	原作
1994	1	シンデレラ	愛情		2	2
	1	ヘンゼルとグレーテル	愛情		2	2
	1	しろばらちゃんとべにばらちゃん	友情		1	2
	1	シンデレラ	幸せ		1	2
	1	ともだちほしいなおおかみくん	友情		1	1
	1	ももちゃんと森のゆかいななかまたち	友情	思いやり	1	2
	1	ヘンゼルとグレーテル	愛情		2	2
	1	金のおの	その他		2	2
	3	はじめてのお使い	勇気		1	2
	3	7人の小人としらゆきひめ	思いやり		2	2
	3	三まいのおふだ	内容の伝達		1	2
	3	ふしぎなわんこ	思いやり		1	2
	3	3びきのくま	友情	協力	1	2
	3	ヘンゼルとグレーテル	愛情		2	2
	3	夢みるもみの木	内容の伝達		1	2
	3	不思議なたね	協力		1	2
3	ジャックと豆の木	勇気		2	2	
1995	1	こぐまとラッパ	友情		1	2
	1	きつねくんのたんじょうび	友情		1	1
	1	おにのあかべえ	思いやり		2	1
	1	ありがとう	内容の伝達		1	2
	1	だいちゃんのいたずら	その他	素直	1	2
	1	ゆめみるピンピキ	友情		2	1
	1	あんぼんたんとラッパ	友情		1	2
	1	ひつじかいの少年とおおかみ	その他		1	2
	1	おやゆびひめ	内容の伝達		1	2
	1	ヘンゼルとグレーテル	愛情		1	2
	1	まんまるパン	その他		1	2
	1	ふだん着のサンタクロース	素直	内容の伝達	2	1
	3	あかずきんちゃん	その他		2	2
	3	オズのまほうつかい	勇気	友情	2	2
	3	金のガチョウ	思いやり	幸せ	1	2
	3	大きなカブ	協力		1	2
3	リカちゃんのおたんじょうび	内容の伝達		1	2	
3	美女と野獣	愛情		1	2	
3	あわてんぼうのサンタクロース	内容の伝達		1	2	
3	赤ずきんちゃんのうら話	その他		1	2	
1996	1	カイとゲルダ	愛情	勇気	2	3
	1	みんなのクリスマス	その他		1	2
	1	ともだちほしいなおおかみくん	友情		1	1
	1	トントントイレ	その他		1	5
	1	ダンゴヤッホッホ	内容の伝達		1	4
	1	さる地蔵	素直	その他	1	2
	1	ころころまるパン	その他		2	5
	1	シンデレラ	幸せ		2	6
	1	長靴をはいた猫	内容の伝達		2	2
	1	さるくんのまほうのふえ	その他		1	3
	1	さんびきのこぶた	努力		1	2
1	あんぱんじゃむぱんカレーぱん	その他		1	2	

熊田 武司

年	部	題名	主題(テーマ)		人形形式		原作	
1996	3	シンデレラ	幸せ		2		2	
	3	マッチウりのしょうじょ	思いやり		2		4	
	3	かさじぞう	思いやり		2		1	
	3	ふしぎながちょう	思いやり	幸せ	2		4	
	3	ヘンゼルとグレーテル	愛情	幸せ	2		2	
	3	マッチウりの少女	幸せ		2		2	
	3	大きなかぶ・・・かも	協力		1	2	4	
1997	1	おたんじょう会にきてください	友情		1		1	
	1	ポンタのじどうはんばいき	思いやり		1		1	
	1	ホットケーキがふってきた	友情		1	2	3	
	1	さるくんのまほうのふえ	その他		1		3	
	1	ともだちほしいなおおかみくん	友情		1	2	1	
	1	つきよのリボン	思いやり		1	2	3	
	1	5ひきのこぐま	思いやり		1	2	3	
	1	おうさまのペロペロキャンディー	思いやり		1	2	3	
	1	しっぽっぱ	友情		1	2	1	
	1	ともだちほしいなおおかみくん	友情		1		1	
	1	なんでもなおすおいしゃさん	その他		1	2	2	
	1	あかずきん	その他		1	2	4	
	3	ヘンゼルとグレーテル	愛情		2		2	
	3	大きなかぶ	協力	友情	1	2	4	
	3	人魚姫	幸せ		1	2	4	
	3	白雪姫	幸せ		1	2	2	
	3	ピノキオ	その他		1	2	4	
	3	ほしのきんか	思いやり		1	2	2	
	3	白雪姫	幸せ		1	2	2	
	3	よくばりポチとミックスパン	その他		1	2	3	
1998	1	とりかえっこ	友情		1	2	1	
	1	あそびたいものよっといで	友情		1	2	3	
	1	うさぎのパンやさん	内容の伝達		1		4	
	1	さるくんのまほうのふえ	その他		1	2	1	
	1	マッチウりのしょうじょ	幸せ		2		4	
	1	ともだちほしいなおおかみくん	友情		1	2	4	
	1	おむすびころりんスットントン	その他		1	2	1	
	1	しらゆき姫	思いやり	幸せ	1	2	2	
	1	てっぺんてっぺん	友情		1		1	
	1	たろのマフラー	友情		1	5	1	
	1	ぐりとぐら	友情		1	2	4	
	1	ヘンゼルとグレーテル	愛情		1	2	2	
	3	きんだいちくろすけのじけんぼ	内容の伝達		1	2	3	
	3	はじめてのおつかい	勇気		1	2	1	
	3	ほしのきんか	思いやり		1	2	2	
	3	お月さまちょうだい	内容の伝達		1	2	3	
	3	赤ずきんさん	友情		1	2	3	
	3	ごんぎつね	内容の伝達		2		1	
	3	ともだちほしいな	友情		1	2	4	
	3	ももたろう	その他	友情	1	2	4	
	3	シンデレラ	幸せ		2		2	
	1999	1	3びきのこぶた	努力		1	4	2

保育者養成校における人形劇制作の一考察

年	部	題名	主題(テーマ)		人形形式			原作
				その他				
1999	1	きんのオノ きんのオノ	素直	その他	2			2
	1	ヘンゼルとグレーテル	愛情		1	2		2
	1	ざくろ太郎	勇気		1	2		4
	1	それいけ!アンパンマン〜クリスマス〜	協力		1			3
	1	ピノキオ	その他		1	2	4	4
	1	ぎょざ売りの少女	幸せ		1	2		3
	1	なぞなぞのもり	思いやり		1	2	4	3
	1	ふしぎの国のアリス	内容の伝達		1	2		4
	1	NEW赤ずきんちゃん	愛情		1	2	4	4
	1	3びきの子ウサギ	友情		1	2	4	3
	1	白雪姫	その他		1	2		4
	3	人魚姫	愛情		1	2		2
	3	あわてんぼうのサンタクロース	内容の伝達		1	2		4
	3	大きなかぶ	協力		1	2		2
	3	しらゆきひめ	思いやり	幸せ	1	2		2
	3	ちいちゃんのかげおくり	その他		2			1
	3	星の金貨	思いやり		1	2		4
	2001	1	みんなともだち	友情		4		
1		白雪姫?	幸せ		4	5		4
1		いえでだ ブヒビヒ!!	愛情		4			1
1		クリスマスイブの大事件	勇気		4			3
1		シンデレラ	幸せ		4			2
1		アンパンマンと不思議な妖精たち	勇気	思いやり	4	5		1
1		お誕生日にきてください	友情		4	1		1
1		靴屋さんと7人のこびと	思いやり		4	1		2
1		おむすびコロリン	その他		4	1		1
1		Happy Merry Christmas	その他		4			3
1		大きなかぶ	協力		4			4
1		たこやきマントマン	内容の伝達		4	1		4
3		アンパンマンとのぎくちゃん	思いやり		4			1
3		ブレーメンの音楽隊	その他		4			2
3		ジャックと豆の木	勇気		4			2
3		はじめてのおつかい	勇気		4			1
3		アンパンマンとホットケーキちゃん	思いやり		4			4
3		ピクニックに行こう	友情		4			3
2002	1	プーアの森	その他		4			3
	1	それいけ!ばいきんまん!	友情		4			4
	1	イエローマントのピーマンマン	その他		4			1
	1	オオカミと七人のこびと	その他		4			2
	1	十二支のはなし	内容の伝達		4	5		1
	1	6びきのねこ	友情		4	5		2
	1	しらゆきひめ	幸せ		4			2
	1	ころころまるパン	その他		4	5		5
	1	くつ屋さんと7人のこびと	思いやり		4			2
	1	しらゆきひめ	幸せ		4	1		2
	1	7ひきの子やぎとおおかみ	その他		4			2
	1	びいちょっぴい	勇気		4			1
	3	サルとカニ	友情		4			1
	3	3びきの子ぶた	努力		4			2

熊田 武司

年	部	題名	主題(テーマ)	人形形式			原作
2002	3	グリーンマントのピーマンマン	その他	4			1
	3	それいけ! アンパンマン	協力	4			1
	3	オオカミと3匹のこやぎ	その他	4			2
	3	ディズニーの森	友情	4			3
2003	1	しらゆき姫	友情	4			4
	1	てっぺん てっぺん	友情	4	5		1
	1	5つのアメ	その他	4			3
	1	いえでだブヒブヒ	愛情	4			1
	1	ずっとずっと ともだちだよ	友情	4	1		3
	1	ぐるんぱの幼稚園	思いやり	4	1	5	3
	1	ももたろう	勇気	4			4
	1	アンパンマン～みんなともだち～	友情	4	5		1
	1	アニマル合戦	その他	4			3
	1	7匹の子やぎと2匹のおおかみ	思いやり	4			4
	1	きいろい恐竜くん	愛情	4	5		3
	1	くれよんのくろくん	友情	4			1
	3	シンデレラ	幸せ	4			2
	3	かばの大きな歯	協力	4	6		3
	3	たのしいクリスマス	友情	4			3
	3	しろねこしろちゃん	愛情	4			3
	3	7匹のねずみといたずらねこ	その他	4			4
	3	ピーターパン	勇気	4			2
	3	ハム太郎のクリスマス	内容の伝達	4			3
	3	まほうつかいとねこ	愛情	4	5		1

※人形の形式

- 1 片手遣い人形 2 棒遣い人形 3 影絵人形 4 表情人形
5 棒人形 6 その他

※原作

- 1 日本の童話・昔話等 2 海外の童話・昔話等 3 創作
4 原作のある創作 5 脚本集等